

枕崎観光の新たな拠点



駅前広場が完成



①テープカットの様子 ②記念列車の到着をたくさんの市民が迎える ③ホタテを振る舞う神園征枕崎市長と工藤玄雅内市長 ④枕崎鰹大トロ井や枕崎鰹船人めしなどの販売 ⑤ナツメグのミニライブでは「夢をのせて～枕崎駅～」などを披露 ⑥アトラクション広場でのLCLのパフォーマンス ⑦稚内市のホタテ塩ラーメンの販売



枕

枕崎駅前には、鹿児島県の形が浮かぶトリックアートや鰹一本釣りをイメージしたデザインのトイレ、イベント等にも利用できる屋根付きベンチなどを備えた駅前広場が完成しました。

3月22日には、枕崎駅周辺整備完成記念式典とイベントが行われました。

本市と友好都市である北海道稚内市からも工藤広市長や岡本雄輔市議会議長をはじめとする総勢11人が駆けつけ、たくさんの市民と一緒に完成を祝いました。

枕崎高校吹奏楽部によるファンファーレで始まった記念式典。枕崎駅舎等利用促進協議会の神園征会長（市長）が「国や県の関係者及び稚内市の皆さん。そして多くの市民の皆さんとともに駅前広場の完成を祝えて嬉しい。今回の広場の完成を機に、枕崎駅がこれまで以上に市民の身近な存在となって、多くの利用、活用をしていただきたい」とあいさつ。このあと、関係者によるテープカットがあったほか、約40人を乗せた記念列車がホームに到着すると、集まった多くの人たちが豆のぼりを振ったり、拍手で乗客を迎えました。

式典後には記念イベントが行

われ、ステージやアトラクション広場ではナツメグによるミニライブや市内小学校などのブラスバンド演奏、ダンスの披露などがありました。また、枕崎グルメ村では、枕崎鰹船人めしや枕崎鰹大トロ井、縁結び出汁愛そばなどを販売。南薩マルシェでは南薩の特産品が勢ぞろいしました。稚内コーナーでは、ホタテ塩ラーメンや特産品の販売、稚内特産の牛乳やホタテの振る舞いなどが、各ブースでは行列ができていました。

枕崎観光の新たな拠点としての期待

完成した駅前広場は、市民や本市出身者など多くの人たちの想いが詰まった駅舎建設に合わせて、県の「魅力ある観光地づくり事業」により平成24年度から3カ年をかけて順次整備を進めてきました。

今後は、本土最南端始発終着駅・枕崎駅（駅舎及び駅周辺）を本市の観光交流拠点と位置付け、より多くの観光客を本市へ誘導するため、さまざまな実効ある観光振興策を手掛けて、一層の観光振興、産業振興が図られていくことが期待されます。

■問合せ 水産商工課観光交流係
TEL 72-1111（内線462）